

6 文科高第 2 1 7 3 号
令和 7 年 3 月 2 8 日

国立大学法人茨城大学長 殿

文 部 科 学 大 臣
阿 部 俊 子

国立大学法人茨城大学の中期目標を達成するための
計画（中期計画）の変更の認可申請について

24 茨 UA 第 4 0 8 9 号をもって、認可申請のあった標記の件については、申請のとおり認可します。

（担当）
文部科学省国立大学法人支援課
国立大学戦略室
電話：03-5253-4111（内線 2002）

国立大学法人茨城大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
<p>2 教育に関する目標を達成するための措置 <u>(3) 【分野横断型の学位プログラムの整備】</u> 持続可能な社会の形成に向けて、社会課題を主体的に解決する志向を有する人材を育成する。 そのため、総合大学としての多様な学問分野を有機的に連携させ、企業・自治体等と連携し、分野横断型の学位プログラムを新たに整備する。</p>		<p>2 教育に関する目標を達成するための措置 <u>(3-1) 【分野横断型の学位プログラムの整備】</u> 持続可能な社会の形成に向けて、社会課題を主体的に解決する志向を有する人材を育成する。 そのため、総合大学としての多様な学問分野を有機的に連携させ、企業・自治体等と連携し、分野横断型の学位プログラムを新たに整備する。</p>		<p>・中期計画の追加により、計画番号を(3-1)に修正。</p>
<p>評価指標</p>	<p>①令和7年度までに分野横断型の学位プログラムを整備する。整備後は、連携する企業・自治体等との定期的な協議の場も活用しつつ、本学の内部質保証の枠組みを用いて学位プログラムの点検・改善を年1回以上行う。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①令和7年度までに分野横断型の学位プログラムを整備する。整備後は、連携する企業・自治体等との定期的な協議の場も活用しつつ、本学の内部質保証の枠組みを用いて学位プログラムの点検・改善を年1回以上行う。</p>	
		<p><u>(3-2) 【地域の課題解決に対応する製造系高度IT技術者の人材育成】</u> 「大学・高専機能強化支援事業」の仕組みを活用し、<u>カリキュラムの再編や入学定員の増員をはかり、地域のニーズに応え高度な課題解決力を身に付けた製造DX系技術者育成機能を強化する。</u></p>		<p>・「大学・高専機能強化支援事業」を活用した製造系高度IT技術者人材育成について、中期計画に(3-2)を追加。入学定員の増員減員について指標を追加。</p>

	<p>評価指標</p> <p>①工学部情報工学科の入学定員 10名増員（令和7年度）、理工学研究科博士前期課程情報工学専攻の入学定員40名増員（令和6年度）、理工学研究科博士後期課程社会インフラシステム科学専攻入学定員 2名増員（令和8年度）</p> <p>②「大学・高専機能強化支援事業」の実施によって増加した学部の入学定員について、「第5期中期目標期間終了時まで同規模の入学定員減を行う方針」を第4期末までに大学全体で検討し、結論を得る。</p>	
--	---	--

別表1 (学部、研究科等及び収容定員)

学 部 及 び 学 部 等 連 係 課 程 実 施 基 本 組 織	人文社会科学部	1,504人【内64人】
	教育学部	1,100人
	理学部	828人(編入8人を含む)
	工学部	<u>2,124人</u> (編入40人を含む) 【内64人】
	農学部	692人(編入20人を含む) 【内 32人】
	地域未来共創学環	【160人】
	(収容定員の総数)	<u>6,248人</u>
	【内 人】は、学部等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。	

別表1 (学部、研究科等及び収容定員)

学 部 及 び 学 部 等 連 係 課 程 実 施 基 本 組 織	人文社会科学部	1,504人【内64人】
	教育学部	1,100人
	理学部	828人(編入8人を含む)
	工学部	<u>2,154人</u> (編入40人を含む) (R7増) 【内64人】
	農学部	692人(編入20人を含む) 【内 32人】
	地域未来共創学環	【160人】
	(収容定員の総数)	<u>6,278人</u> (R7増)
	【内 人】は、学部等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。	

・「大学・高専機能強化支援事業」の仕組みを活用し、工学部(情報工学科)では令和7年度に10名の入学定員の増員を行う。完成年度は令和10年度のため、別表1には令和9年度(第4期末)時点の収容定員を記載。